

# 創立20周年迎え更なる企業成長を目指す

## ECF PRECISION

### 高度化ニーズに適確な業務展開 一層の結束を固める

クラウンファスナー(株)(山梨県、望月厚志社長の海外生産拠点である“ECF PRECISION (THAILAND) CO., LTD. (タイ国アユタヤ県)”では、2001年からタイ国において特殊生産部品の生産を開始してから2021年で創立20周年を迎えた。幾多の試練を経験しながらも、顧客ニーズを適確に捉えた活動のもとに順調に事業を推進。コロナ禍における渡航制限が緩和した昨年12月25日に延期していた社員を対象にした記念パーティーが「KRUNGSRI RIVER HOTEL」で開催された。



ECF社屋の外観

当日の25日午前中は、アユタヤ県のロイヤル工業団地内同社屋において一層の事業発展並びに安全確保などを祈願するタイ国仏教僧侶9名による祈禱がおこなわれ、一連の儀式終了後は、社員玄関前のスペースに集合し、望月社長をはじめ篠原治(マネージメントディレクター)、参加社員にも記念撮影を実施。



タイ国仏教僧侶による祈禱

当日の同会進行役から各自会場到着の確認がなされた後、望月社長が登壇し、日本スタッフ、参加した従業員に日頃の感謝の言葉を述べ、記念パーティーに合わせ参加したエリート・株式会社佐久間慎治(現地地役員の紹介をして別稿の通り挨拶がなされた。引続き来賓のエリート佐久間社長が挨拶に立ち「20周年おめでとう」

### 金型製造や各種効率化進む

望月社長と篠原MDは現在の状況と今後の企業運営について以下のようにお話。

生産内容はこの20年で大きく変化し、進出時品及び単純加工の圧造製品から複雑な形状の二部品にねじ加工が付帯する製品、精造部品へと

と移行してきました。現場における製機機種のラインナップ並びに技術力も高度化が図られて製造加工全般を網羅する製造方法へと広がりを見せています。迅速なニーズ対応と社内レベルアップを目的に6年前から取組んできた金型の製造も、現在

では50社の社内用金型製造が実現できるまでに成長しています。また、やはりこの世界的な潮流で考えることも視野に入れ、現在の建屋建設時に導入の大太陽光発電を直近で倍の面積に計画しており、それにより自家発電率約50%まで

可能になる。また、効率化を考えた従業員の働きやすさや工場レイアウト等にも注力し、具体的な一例に各機械の高さを使用するワーカーの作業しやすい高さ調整等を行っています。

今後も急速に変化に対応するための準備とチャレンジする精神で常にエリートに求める製品を作り続ける体制を構築していきたい。



タイ国仏教僧侶による祈禱

つも感心いたしますのは、望月社をはじめとする社員の方々の技術力、チームワークです。弊社も幾度となく助けられました。その技術力、完璧な手ノワークが御社の発展を支えてきたでしょう。また、望月社

長は、お社員の皆様に対して日頃の御向きな業務への姿勢に感謝の意を表す言葉を述べ、そのあとに「本日は仕事を忘れて大いに楽しんで下さい。そして、これからECF社が大きく前進できるような一層に努めていきましょう」と語り、乾杯の発声で「エリート」パーティーが開業した。会場内は、バンドやダンサーによるアトラクションで盛り上がりを見せた。望月社長より永年勤続者表彰として20年勤続者から功績を讃えて記念品等が贈られた。また、従業員向けに宝飾品や家電製品も多彩な豪華品が当たる引当きもおこなわれ、参加者はこの30周年に向けた社内の親睦及び団結力を深めると共に、楽しい歓談のひと時を過ごした。

篠原MDが参加従業員に対して日頃の御向きな業務への姿勢に感謝の意を表す言葉を述べ、そのあとに「本日は仕事を忘れて大いに楽しんで下さい。そして、これからECF社が大きく前進できるような一層に努めていきましょう」と語り、乾杯の発声で「エリート」パーティーが開業した。会場内は、バンドやダンサーによるアトラクションで盛り上がりを見せた。望月社長より永年勤続者表彰として20年勤続者から功績を讃えて記念品等が贈られた。また、従業員向けに宝飾品や家電製品も多彩な豪華品が当たる引当きもおこなわれ、参加者はこの30周年に向けた社内の親睦及び団結力を深めると共に、楽しい歓談のひと時を過ごした。



参加社員による記念撮影(中央に望月社長、その右側に篠原MD)

### 逆境乗越え 次の10年へ 望月社長の挨拶要旨

皆様、今年も「年開き疲れ」が来ましたが、今年も昨年の2021年にECFが創立20周年の節目の記念の年でしたが、コロナ禍における自衛的対応の三年ぶりのニューイヤーパーティを併催させた一年遅れによる記念の会として位置づけ実施いたしました。



直近では、未だ収束が見えないコロナウイルス感染症の動向と、ロシアのウクライナ侵襲に伴って世界経済は大きなマイナスの影響を受けています。しかし、我々には数々の逆境を乗り越えてきた経験があります。取り巻く現在の状況も克服し、次の30周年に向け常にユニークな商品を開発し、皆様に先代の時代

へ歩んで行くと思っております。今日は、ECFの20%の株を保有するエリート株式会社 佐久間社長、天野執行役員、Siam ECFの北澤良一MDも参加して、三周年のニューイヤーパーティとなりますが、楽しい会になるようご協力をお願いします。これからも皆様のご家族健康で幸せになりますようお祈りし私の挨拶いたします。



内観の一角(生産エリア)

ECFの概要

- ▼住所 55 Moo 4 Rojana Industrial Park
- ▼敷地面積 26,900平方メートル
- ▼建物 9,600平方メートル
- ▼設立 2001年12月
- ▼設立 2001年4月
- ▼ISO9001 認証取得(2003年5月)
- ▼ISO14001 認証取得(2005年11月)
- ▼ISO/IAF169



同(金型製造エリア)

49 認証取得(2009年4月) ▼資本金 8,600万バツ ▼株主 クラウンファスナーグループ 80%、エリート 20% ▼役員 望月厚志(代表取締役)、篠原孝治(MD)、従業員数 127名(含パート) (生産設備)

- 生産機 1D 21 32
- 台 2D 3B 43 台 3
- D 3B 2台、4D 4
- 2台、5D 5B 2台
- 計 81台
- 駆逐機(組み込み含め) 50台

二次加工機(切削・プレス・リベット等) 46台

検査設備(引張試験機・マイクロスコープ・塩水噴霧試験機等) 12台

選別機(画像選別機・ローラー選別機等) 11台

金型製作設備(2016年)ワイヤーカット、放電加工機、CNC等々) 24台

加工範囲 1mm ~ 16mm